

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成24年4月26日(2012.4.26)

【公表番号】特表2011-513031(P2011-513031A)
 【公表日】平成23年4月28日(2011.4.28)
 【年通号数】公開・登録公報2011-017
 【出願番号】特願2010-550788(P2010-550788)
 【国際特許分類】

A 6 1 M 25/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 25/00 4 1 0 H

A 6 1 M 25/00 4 1 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月5日(2012.3.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 外壁及び内壁を備える実質的には円筒状の本体部分であって、前記本体部分の中心軸線に沿って延在する穴をさらに備える本体部分と、

前記本体部分の前記外壁から離れる方向に突出し、前記本体部分に一体化して成形され、第1の高さ及び第1の有効幅を有する伸長要素と、

前記本体部分の前記外壁から突出し、前記伸長要素に一体化して成形され、前記伸長要素の前記第1の有効幅より大きい第2の有効幅を有する構造的特徴部と

を備える吹込成形用のパリソンを提供するステップと、

(b) 前記吹込用のパリソンを成形型内に挿入するステップと、

(c) 所定量の熱と圧力を前記パリソンに加えるステップと、

(d) 前記パリソンを長手方向に引き伸ばすステップと、

(e) 前記構造的特徴部の構造的な形態を維持するために、半径方向の拡張中に成長する応力誘発性の塑性変形を前記伸長要素が受けるようにして、前記パリソンを半径方向に拡張するステップと、

を含むバルーンを形成する方法。

【請求項2】

前記パリソンの前記長手方向の引き伸ばし及び前記半径方向の拡張に先立って、前記構造的特徴部を覆う被覆物を配置するステップをさらに含む請求項1に記載の方法。

【請求項3】

ステップ(e)が、前記伸長要素が前記半径方向の拡張中の前記構造的特徴部の大幅な拡張を妨げていることをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

ステップ(a)が、前記パリソンの前記本体部分及び前記伸長要素の下部を第1の材料から押し出し、前記伸長要素の上部及び構造的特徴部を前記第1の材料より柔らかくない第2の材料から押し出すことをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記パリソンを長手方向に引き伸ばすステップ及び半径方向に拡張するステップが、前記伸長要素をコネクタに変形させ、前記構造的特徴部を拡張要素に変形させる、請求項1

に記載の方法。

【請求項 6】

前記構造的特徴部の前記第 2 の有効幅を第 3 の有効幅に低減するステップをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記伸長要素の前記第 1 の有効幅を前記第 3 有効幅未満である第 4 の有効幅に低減するステップをさらに備える、請求項 6 に記載の方法。